学校番号	3007

令和８年度　美術科

教科	美術科	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新・高校生の美術１」（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「絵画」「デザイン」「版画」「映像メディア表現」など、幅広い美術の表現分野の基礎的な学習を通して感性や造形感覚を高めてほしい。
・作品を通して自分の思いや感じ方を知り、自分なりの表現をさらに深めてほしい。
・鑑賞により優れた作品を通して生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現をさらに深めていきましょう。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、創造的な見方や考え方を働かせることにより美的体験を重ね、通常の生活や社会の中にある美術文化と積極的に関わる資質・能力を身に付ける。
⑴ 造形的な視点について理解を深め、表現内容に応じた表現方法を身に付ける。
⑵ 造形的な美しさの追求および表現方法の創意工夫により、社会での美術の働きについて考察を深め、主題を創造的に発想し構想を練ることができる力を身に付ける。
⑶ 美術を愛好する心情を自ら育み、感性を高め心豊かな生活や社会の創造に取り組む心と姿勢を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めることができるとともに、造形的な美術表現をするために必要な技能を身に付けている。	・造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きについて考えることができるとともに、主題を生成し創造的に発想や構想を練り、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めている。	・美術や美術文化と豊かな気持ちで関わることができるとともに、表現および鑑賞の創造活動に主体的に取り組むことができている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	鑑賞	○オリエンテーション 教科書を参考に「美術Ⅰ」のイメージや目標を見つける。 ○教科書・映像作品の鑑賞	a:美術の多様な表現に関心を持ち、今後の学習や創作の意欲を高めている。 b:対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 c:主体的に創作活動に取り組んでいる。	ワークシート 活動の様子	ワークシート 活動の様子	ワークシート 活動の様子
	表現　絵画　色彩基礎	○名暗表現 ・鉛筆デッサン ○塗り絵 ○模写 「婦人像」ボッチチェリ作 ○コンポジション ・プリントされた文様デザインより自分のオリジナル文様を作成する	a:デザインの基本的技能を作品に生かせている。 b:楽しさを感じ取りながら表現の工夫を深めている。オリジナル作品の創作において彩色により創意工夫している。 c:主体的に創作活動に取り組んでいる。	完成作品 ワークシート 活動の様子	完成作品 ワークシート 活動の様子	完成 レポート 活動の様子
2	デザイン	○グラデーション ○レタリング ○ポスター【テーマ】 ・「環境問題」 ・「平和」	a:　デザインの基本的技能を作品に生かせている。 b:伝えたいメッセージを端的に表して表現に工夫を施し、印象に残る作品を創作している。 c:主体的に創作活動に取り組んでいる。	完成作品 ワークシート 活動の様子	完成作品 ワークシート 活動の様子	ワークシート 活動の様子
3	工芸	○プッシュステンド ・アイディアスケッチ デザイン案を考える ・色彩・配色計画を立案する。 ・シートカット配色 ・着色作業	a:自由な発想でプッシュステンドの特性を生かせたデザインができている。 b:形や配色などの働きを考えながら色彩と構想を練っている。 c:主体的に創作活動に取り組んでいる。	完成作品 ワークシート 活動の様子 アイディアスケッチ	完成作品 ワークシート 活動の様子	ワークシート 活動の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度